

事前評価個表

事業名	地域防災対策総合治山（国有林）	事業計画期間	平成20～29年度（10年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	妙高山 （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 上越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、新潟県南部の妙高山(2,454m)の外輪山に位置し、新生代第四期の火山で上信越高原国立公園に指定され、周辺には赤倉温泉、関温泉、燕温泉、池の平温泉、妙高温泉があり、夏季は自然探勝、登山、冬期はスキーを中心とした一大観光地域である。</p> <p>地形は全般的に急峻で、国有林より下部は妙高火山の裾野が広がり、暖容な地形を示している。しかし、河川の形状はV字谷の様相を呈し、兩岸には長年の浸食作用で形成された急な崖が連続している。</p> <p>地質は第四紀火山岩類からなり、妙高火山によってもたらされた溶岩、火山砕屑岩などで構成されている。</p> <p>溪流沿いには、これら火山噴出物(火山灰・スコリア・溶岩の互層)の露頭が随所で見られるが、溶岩を除けば全般に固結度は低く脆弱なため、崖状の崩壊が所々に発生している。</p> <p>過去にも頻繁に災害が発生しており、近年ではH16の新潟・福島豪雨や新潟県中越地震による山地災害が発生している。</p> <p>このため、溪流には山腹崩壊による不安定土砂及び火山噴出物が大量に堆積し、下流の保全対象に大きな被害を及ぼす恐れがあるため、山腹工等を併せた総合的な対策が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> コンクリート谷止工26基 本数調整伐30ha 管理車道補修5,000m 標識2箇所 ・主な保全対象 <ul style="list-style-type: none"> 人家325戸 病院1箇所 国道600m 学校2箇所 工場3箇所 JR信越本線600m 山腹工22.73ha(14箇所) 管理車道新設1,500m 土石流センサー2箇所 官公署2箇所 上信越自動車道600m 田畑325ha 		
費用対効果分析	総費用(C)	1,431,360千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	1,676,546千円
		山地保全便益	12,299,031千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	13,975,577千円
	分析結果(B/C)	9.76	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪流には山腹崩壊による不安定土砂及び火山噴出物が大量に堆積し、下流の保全対象に大きな被害を及ぼす恐れがあるため、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪流内の不安定土砂及び火山噴出物の安定及び山腹斜面の安定が図られ、公益的機能の維持向上による民心の安定に寄与することから有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		